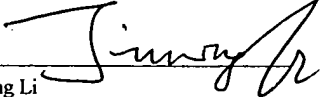


2722
#4

PATENT
Docket No. 325772016800

CERTIFICATE OF HAND DELIVERY	
I hereby certify that this correspondence is being hand filed with the United States Patent and Trademark Office in Washington, D.C. on August 1, 2000.	
	
Jinrong Li	

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In the application of:

Yoshio MORIKAWA *et al.*

Serial No.: 09/537,294

Filing Date: March 29, 2000

For: PRINTING SYSTEM



Examiner: to be assigned

Group Art Unit: 2722

RECEIVED
AUG - 3 2000
TC 2700 MAIL ROOM

TRANSMITTAL OF PRIORITY DOCUMENT

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119, Applicants hereby claim the benefit of the filing of Japanese patent application Nos. 11-092650, filed March 31, 1999 and 11-101225 filed April 8, 1999.

The certified priority documents are attached to perfect Applicants' claim for priority.

It is respectfully requested that the receipt of the certified copies attached hereto be acknowledged in this application.


In the event that the transmittal letter is separated from these documents and the Patent and Trademark Office determines that an extension and/or other relief is required, Applicants

dc-212665

petition for any required relief including extensions of time and authorizes the Commissioner to charge the cost of such petitions and/or other fees due in connection with the filing of these documents to Deposit Account No. 03-1952. However, the Commissioner is not authorized to charge the cost of the issue fee to the Deposit Account.

Dated: August 1, 2000

Respectfully submitted,

By: 
Barry E. Bretschneider
Registration No. 28,055

Morrison & Foerster LLP
2000 Pennsylvania Avenue, N.W.
Washington, D.C. 20006-1888
Telephone: (202) 887-1545
Facsimile: (202) 887-0763

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
this Office.

願年月日

Date of Application:

1999年 3月31日

願番号

Application Number:

平成11年特許願第092650号

願人

Applicant(s):

ミノルタ株式会社

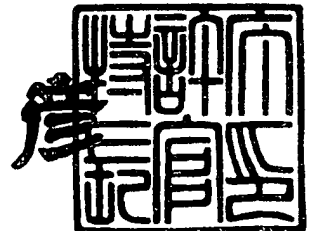
RECEIVED
AUG -3 2000
TC 2700 MAIL ROOM

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1999年12月24日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤 隆



【書類名】 特許願

【整理番号】 161250

【提出日】 平成11年 3月31日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 3/12

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビ
ル ミノルタ株式会社内

 【氏名】 森川 禎夫

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビ
ル ミノルタ株式会社内

 【氏名】 濱 健朗

【特許出願人】

 【識別番号】 000006079

 【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビ
ル

 【氏名又は名称】 ミノルタ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100062144

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 青山 葆

【選任した代理人】

 【識別番号】 100086405

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 河宮 治

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 013262

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9808001

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 印刷システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の印刷装置を相互にネットワーク回線で接続し、データ処理装置からの印刷 j o b データを印刷装置で受信して印刷を行うようにした印刷システムにおいて、

上記複数の印刷装置が上記印刷 j o b データに基づいて印刷を実行する印刷手段、他の印刷装置との間でデータの送受を行う通信手段及び他の印刷装置の装置情報を記憶しうる記憶手段を少なくとも含んで構成され、

該複数の印刷装置がその処理しうる言語に基づいてグループ化され、上記複数の印刷装置のうち、上記複数グループの少なくとも 2 つの異なる言語を処理し、かつそのうちデータ処理能力の高い印刷装置が管理印刷装置とされ、

上記管理印刷装置が処理しうる言語グループに属する全ての印刷装置の装置情報を記憶し、いずれかの印刷装置からの印刷 j o b データの転送があった時に該印刷 j o b データを同一の言語グループに属する他の印刷装置に転送するようにしたことを特徴とする印刷システム。

【請求項 2】 上記データ処理装置が、上記複数の印刷装置の装置情報から少なくとも 2 つの言語を処理し、かつそのうちデータ処理能力の高い印刷装置を管理印刷装置に選定する自動選定手段、該管理印刷装置の処理しうる言語に基づいて上記複数の印刷装置をグループ化するグルーピング手段、

上記管理印刷装置にその処理しうる言語グループに属する印刷装置の装置情報を送信するとともに上記管理印刷装置以外の印刷装置に自己の属する言語グループの管理装置を通知する通信手段、

を含んで構成されている請求項 1 記載の印刷システム。

【請求項 3】 上記データ処理装置が、使用者の操作によって上記複数の印刷装置の装置情報から管理印刷装置を任意に選定しうるマニュアル選定手段を更に含んで構成されている請求項 2 記載の印刷システム。

【請求項 4】 上記管理印刷装置は、いずれかの印刷装置からの印刷 j o b データの転送があった時に該印刷 j o b データを同一の言語グループに属する他

の印刷装置のうち、データ処理能力の最も低い印刷装置に転送するようになった請求項 1 記載の印刷システム。

【請求項 5】 複数の印刷装置を相互にネットワーク回線で接続し、データ処理装置からの印刷 j o b データを印刷装置で受信して印刷を行うようにした印刷システムにおいて用いられる印刷装置であって、

印刷 j o b データに基づいて印刷を実行する印刷手段と、

自己が管理印刷装置に選定された時には自己の処理しうる言語と共通の言語を処理しうる他の印刷装置の装置情報を記憶する一方、自己が管理印刷装置でない時には自己の管理印刷装置を記憶する記憶手段と、

自己が管理印刷装置でない時に印刷不可能な状況下では印刷 j o b データを管理印刷装置に転送する一方、自己が管理印刷装置の時には上記選択された印刷装置に印刷 j o b データを転送する通信手段とを備えたことを特徴とする印刷装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は印刷システムに関し、特に印刷 j o b データを受信した印刷装置（以下、単にプリンタともいう）が何らかの原因で印刷を実行できない場合に時間待ちをすることなく印刷を行えるようにしたシステムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

最近、複数のホストコンピュータとプリンタとをネットワーク回線で接続し、いずれかのホストコンピュータからプリンタに印刷 j o b データを送信すると、プリントを実行できるようにした印刷システムが提案されている。

【 0 0 0 3 】

例えば、ホストコンピュータやプリンタ管理装置によって複数のプリンタのなかからユーザーの希望する機能や性能を有するプリンタを自動的に選択するようにした印刷システムが知られている（特開平 6 - 2 4 2 8 9 9 号公報、特開平 7 - 1 4 1 1 2 8 号公報、参照）。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記従来の印刷システムでは1つのプリンタを指定して印刷jobデータを送信した時にそのプリンタに多くの印刷jobがキューイングされていると、その処理が済むまでは次の印刷を実行できず、印刷が済むまでに時間がかかるという問題があった。

【0005】

本発明はかかる問題点に鑑み、プリンタに印刷jobが集中しているような時にも時間待ちをすることなく印刷を行えるようにした印刷システムを提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

そこで、本発明に係る印刷システムは、複数の印刷装置を相互にネットワーク回線で接続し、データ処理装置からの印刷jobデータを印刷装置で受信して印刷を行うようにした印刷システムにおいて、上記複数の印刷装置が上記印刷jobデータに基づいて印刷を実行する印刷手段、他の印刷装置との間でデータの送受を行う通信手段及び他の印刷装置の装置情報を記憶しうる記憶手段を少なくとも含んで構成され、該複数の印刷装置がその処理しうる言語に基づいてグループ化され、上記複数の印刷装置のうち、上記複数グループの少なくとも2つの異なる言語を処理し、かつそのうちデータ処理能力の高い印刷装置が管理印刷装置とされ、上記管理印刷装置が処理しうる言語グループに属する全ての印刷装置の装置情報を記憶し、いずれかの印刷装置からの印刷jobデータの転送があった時に該印刷jobデータを同一の言語グループに属する他の印刷装置に転送するようになったことを特徴とする。

【0007】

本発明の特徴の1つは少なくとも2つのプリンタ言語をサポートする管理プリンタを設け、印刷jobデータを受信したプリンタが何らかの原因で印刷を実行できない場合に管理プリンタが同一の言語グループに属する他のプリンタに対して印刷jobデータを転送し、印刷を実行するようにした点にある。これにより

、1つのプリンタに多くの印刷J o bがキューイングされている場合、あるいはプリンタエラーが発生し、紙切れ等を起こした場合にも時間待ちをすることなく印刷を実行できる。管理プリンタの選定にあたり、ホストコンピュータがネットワーク環境を調べ、各プリンタの性能や条件等を検討して管理プリンタを自動選定するようにすると、そのネットワーク環境の中から、いろいろな条件に従った最適なプリンタを選定できる。

【0008】

また、管理プリンタが予め処理しうる言語をサポートするプリンタをグループ化して記憶しているので、ホストコンピュータやプリンタ管理装置によってユーザーが希望するプリンタを選択して印刷j o bデータを送信する場合に比して印刷j o bデータの振り分けを効率よく行うことができ、しかもユーザーがプリンタの状態を確認する必要もない。

【0009】

管理プリンタの選定はホストコンピュータ（データ処理装置）によって自動的に行うのがよい。

【0010】

即ち、上記データ処理装置が、上記複数の印刷装置の装置情報から少なくとも2つの言語を処理し、かつそのうちデータ処理能力の高い印刷装置を管理印刷装置に選定する自動選定手段、該管理印刷装置の処理しうる言語に基づいて上記複数の印刷装置をグループ化するグルーピング手段、上記管理印刷装置にその処理しうる言語グループに属する印刷装置の装置情報を送信するとともに上記管理印刷装置以外の印刷装置に自己の属する言語グループの管理装置を通知する通信手段、を含んで構成されているのがよい。

【0011】

また、ホストコンピュータによって管理プリンタを選定している際に、ホストコンピュータ自体のタスク処理が重く、処理能力が低下している場合やネットワーク上にトラブルが発生している場合等にはホストコンピュータによる自動選定ではなく、暫定的にユーザーのマニュアル操作によって管理プリンタを選定できるようにすると、フレキシブルな対応ができることとなる。

【0012】

即ち、上記データ処理装置が、使用者の操作によって上記複数の印刷装置の装置情報から管理印刷装置を任意に選定しうるマニュアル選定手段を更に含んで構成されているのがよい。

【0013】

また、管理プリンタから印刷 j o b データを転送すべき他のプリンタは同一の言語グループに属するプリンタであればよく、例えばデータ処理能力の高いプリンタに転送することもできる。しかし、その印刷 j o b データの転送後に、新たに印刷 j o b データを転送する必要が生じた場合に、その印刷 j o b データが高いデータ処理能力を必要とした場合にはデータ処理能力の低いプリンタでは対応しきれない。そこで、印刷 j o b データを転送すべきプリンタはデータ処理能力の低い方から選択するのがよい。

【0014】

即ち、上記管理印刷装置は、いずれかの印刷装置からの印刷 j o b データの転送があった時に該印刷 j o b データを同一の言語グループに属する他の印刷装置のうち、データ処理能力の最も低い印刷装置に転送するようになるのが好ましい。

【0015】

また、上述のような印刷システムに用いられるプリンタも新規である。即ち、本発明によれば、複数の印刷装置を相互にネットワーク回線で接続し、データ処理装置からの印刷 j o b データを印刷装置で受信して印刷を行うようにした印刷システムにおいて用いられる印刷装置であって、印刷 j o b データに基づいて印刷を実行する印刷手段と、自己が管理印刷装置に選定された時には自己の処理しうる言語と共通の言語を処理しうる他の印刷装置の装置情報を記憶する一方、自己が管理印刷装置でない時には自己の管理印刷装置を記憶する記憶手段と、自己が管理印刷装置でない時に印刷不可能な状況下では印刷 j o b データを管理印刷装置に転送する一方、自己が管理印刷装置の時には上記選択された印刷装置に印刷 j o b データを転送する通信手段とを備えたことを特徴とする印刷装置を提供することができる。

【0016】

データ処理装置は信号を処理して印刷 j o b データを出力するものであればどのようなものでもよいが、一般的にはホストコンピュータが用いられる。このデータ処理装置は1つでもよく、複数であってもよい。データ処理装置とプリンタとの間はどのような手段で接続されていてもよく、例えばネットワーク回線で接続されることができる。

【0017】

【発明の実施の形態】

以下、本発明を図面に示す具体例に基づいて詳細に説明する。図1ないし図6は本発明に係る印刷システムの好ましい実施形態を示す。図1は本例の印刷システムの全体構成を示す。図1において、本例の印刷システムは複数のプリンタ（印刷装置）100・・・と複数のホストコンピュータ（データ処理装置）200・・・とがネットワーク回線300で接続され、いずれのホストコンピュータ200・・・からでもプリンタ100に印刷 j o b データを送信して印刷できるようになっている。

【0018】

図2はホストコンピュータ200の機能ブロックを示す。ホストコンピュータ200はパーソナルコンピュータ本体（通信手段）210、各種の設定や指示を行うためのキーボード（マニュアル選定手段）211、表示を行うためのディスプレイ212、登録内容を保持するメモリ213、各種の演算処理を行うCPU（マニュアル選定手段、グルーピング手段、自動選定手段）214、音声を出力するスピーカ215から構成されている。

【0019】

図3はプリンタ100の機能ブロックを示す。プリンタ100はプリンタ本体（印刷手段、通信手段）110、各種の設定や表示をするためのオペレーションパネル（選択手段）111、登録内容を保持するメモリ（記憶手段）112、処理を行うためのCPU（選択手段）113から構成されている。

【0020】

図4は本例の印刷システムを概念的に示す。複数のプリンタ100・・・がネ

ットワーク回線によって環状に接続される一方、ネットワーク回線には複数のホストコンピュータ 200・・・が接続されている。但し、図4ではプリンタはPr 1～Pr 7で、ホストコンピュータ 200はPc 1～Pc nで示されている。

【0021】

次に、図4及び図5を参照しつつ、管理プリンタの選定処理及び印刷jobデータ転送処理の概略を説明する。管理プリンタを選定する場合、まずネットワーク上に接続されたホストコンピュータPc 1～Pc nのいずれかにおいて、管理プリンタ選定のためのアプリケーションソフトを起動し、ネットワーク上の各プリンタPr 1～Pr 7の装置情報を得る。ここで、装置情報にはプリンタ言語、解像度、カラーor白黒、プリント速度、用紙サイズ、フォント、ジョブ実行状況、メモリ容量等が含まれる。

【0022】

次に、それらの装置情報からホストコンピュータPc 1～Pc nが最適な管理プリンタPr 1を選定する。選定は2つの異なる言語（例えば、PCLとPS）を処理しうるプリンタPr 1が管理プリンタとされ、一方の言語PCLに属するプリンタPr 2～Pr 4が1つの言語グループ、他方の言語PSに属するプリンタPr 5～Pr 7がもう1つの言語グループとしてプリンタ群が形成される。

【0023】

図5は上述のようしてグループ化した状態を概念的に示す。例ではプリンタPr 1が管理プリンタとして選定され、該管理プリンタPr 1を中心とし、ある言語（例えばPCL）のプリンタPr 2、Pr 3、Pr 4の群と他の言語（例えばPS）のプリンタPr 5、Pr 6、Pr 7の群にグループ化されている。また、ネットワーク上の各プリンタPr 2～Pr 7の装置情報は管理プリンタPr 1が常に保持しており、装置情報に変更があると、そのプリンタPr 2～Pr 7は随時管理プリンタPr 1にそれを通知する。

【0024】

以上のようにして管理プリンタPr 1が選定されると、ホストコンピュータPc 1～Pc nは管理プリンタPr 1以外の各プリンタPr 2～Pr 7にプリンタPr 1が管理プリンタであることを通知する一方、管理プリンタPr 1には他の

プリンタ P r 2 ~ P r 7 の装置情報を転送し、こうして管理プリンタの選定が終了する。

【0025】

今、ホストコンピュータ P c 1 からプリンタ P r 2 へ第1の印刷 j o b データが送信され、その印刷の処理中にホストコンピュータ P c 2 からプリンタ P r 2 に次の第2の印刷 j o b データが送信された場合、プリンタ P r 2 は第1の印刷 j o b データの処理が済むまでは第2の印刷 j o b データを印刷することができない。そこで、プリンタ P r 2 は第2の印刷 j o b データを管理プリンタ P r 1 に転送し、管理プリンタ P r 1 は第2の印刷 j o b データの内容を解読し、第2の印刷 j o b データを処理しうる、即ち同一言語に属する適切なプリンタ P r 3 又は P r 4 に第2の印刷 j o b データを再転送する一方、第2の印刷 j o b データの送信元のホストコンピュータ P c 2 にはプリンタ P r 3 又は P r 4 に第2の印刷 j o b データを転送したことを通知し、以後の第2の印刷 j o b データの処理は送信元のホストコンピュータ P c 2 とプリンタ P r 3 又は P r 4 との間で行われることとなる。

【0026】

図6の(a)はホストコンピュータ 200 における管理プリンタの選定処理のフローチャートを示す。処理が開始されると、まず管理プリンタの選定処理を実行するためのアプリケーションソフトが起動され（ステップ S 100）、ホストコンピュータ 200 の表示画面上には管理プリンタ設定のダイアログボックスが表示されるので、ユーザーは管理プリンタを自動選択するか、マニュアル選択するかを選ぶ（ステップ S 101）。次に、ネットワーク上の全てのプリンタ 100 ……に対し、プリンタ情報の送信を要求し（ステップ S 102）、送信されてきたプリンタ情報を受信し（ステップ S 103）、自動選択か否かを判定する（ステップ S 104）。

【0027】

自動選択の場合には全てのプリンタ 100 ……からのプリンタ情報に基づき、最適なプリンタ 100 を管理プリンタに選定し（ステップ S 105）、自動選択でない場合には表示画面上でのマニュアル操作によって管理プリンタ 100 を

選定する（ステップS106）。管理プリンタ100が選定されると、ホストコンピュータ200は選定されたプリンタ100に管理プリンタに選定されたことを通知するとともに、他の全てのプリンタ100・・・のプリンタ情報を送信し（ステップS107）、選定されなかったプリンタ100・・・にはどのプリンタ100が管理プリンタに選定されたかを通知し（ステップS108）、処理を終了する。

【0028】

図6の(b)は管理プリンタ100の自動選択のサブルーチンのフローチャートを示す。処理が開始されると、プリンタ100の処理しうる言語の搭載数の最大のものをグループ化し（ステップS105-1）、その中から、情報処理速度の最速のものを管理プリンタ100に選定し（ステップS105-2）、管理プリンタ100が理解できる各言語毎にプリンタ群を形成し（ステップS105-3）、そのプリンタ群から幾つかのプリンタ100が洩れた場合にはその中から、更に管理プリンタ100を選定し、プリンタ群を形成し（ステップS105-4）、処理を終了する。

【0029】

管理プリンタ100を自動選定する場合、基本的にはネットワーク上にあるプリンタ100の処理しうる言語を全て理解できることが条件である。しかし、その条件が満たされない場合はある限られた範囲内で仮想的なプリンタ群のネットワークを構築する。かかる意味で図6の(b)に示されるフローチャートの処理が行われる。これにより、ネットワーク上には幾つかの管理プリンタ100とこれを中心としたプリンタ群が形成される。あるプリンタ100にとっては処理しうる言語毎に管理プリンタ100があり、複数の管理プリンタ100・・・が存在する可能性もある。

【0030】

図7はホストコンピュータ200の表示画面上に表示された管理プリンタ設定のダイアログボックスの1例を示す。図7の(a)は管理プリンタ選定方法の選択のための画面を示す。本例では「自動選定」と「マニュアル選定」の文字と「OK」及び「キャンセル」のボタンが表示され、例では「マニュアル選定」が選択

されている。この状態で「OK」をクリックすると、図7の(b)に示される画面が表示される。

【0031】

図7の(b)の画面ではプリンタ名称と各プリンタの言語、解像度、プリント速度及びメモリサイズが表示されるとともに、その下方に「自動選択」「OK」「キャンセル」のボタンが表示されており、ユーザーが任意のプリンタ100を選択し、「OK」をクリックすると、選択したプリンタ100を管理プリンタに設定できる。例では、プリンタ1がサポート言語：PCL、解像度：600dpi、プリント速度：20ppm、メモリサイズ：16MB、プリンタ2がサポート言語：PCL、解像度：1200dpi、プリント速度：8ppm、メモリサイズ：16MB、プリンタ3がサポート言語：PCL、解像度：600dpi、プリント速度：16ppm、メモリサイズ：8MB、プリンタAがサポート言語：PS、解像度：600dpi、プリント速度：20ppm、メモリサイズ：16MB、プリンタBがサポート言語：PS、解像度：1200dpi、プリント速度：16ppm、メモリサイズ：32MB、プリンタCがサポート言語：PS/PCL、解像度：1200dpi、プリント速度：20ppm、メモリサイズ：32MB、と表示され、プリンタCが管理プリンタに選択されている。

【0032】

図8は管理プリンタ100における印刷処理のフローチャートを示す。処理が開始されると、ホストコンピュータ200からの印刷jobデータを受信し（ステップS200）、現在プリント中か否かを判定し（ステップS201）、プリント中でない場合には受信した印刷jobデータに基づいて印刷を実行する（ステップS202）。他方、プリント中の場合には印刷jobデータのプリンタ言語及び印刷jobデータ内容を解読し（ステップS203）、解読結果に応じて他の適切なプリンタ100に対して印刷の依頼を行い、そのプリンタ100から印刷を実行する旨のレディ信号が返信されてきたか否かを判定し（ステップS204、S205）、レディ信号が返信されてくるまでその処理を繰り返し、レディ信号が返信されてくると、そのプリンタ100に印刷jobデータを転送するとともに、印刷job信号の送信元のホストコンピュータ200に転送先のプリ

ンタ 100 を通知し（ステップ S206、S207）、処理を終了する。以後、この印刷 j o b データの処理については送信元のホストコンピュータ 200 と転送先のプリンタ 100 との間で行われることとなる。

【0033】

図 9 は通常のプリンタ 100 における印刷処理のフローチャートを示す。処理が開始されると、ホストコンピュータ 200 からの印刷 j o b データを受信し（ステップ S300）、現在プリント中か否かを判定し（ステップ S301）、プリント中でない場合には受信した印刷 j o b データに基づいて印刷を実行する（ステップ S302）。他方、プリント中の場合には管理プリンタ 100 に印刷 j o b データを転送し（ステップ S303）、処理を終了する。

【0034】

図 10 はプリンタ 100 の情報更新のフローチャートを示す。例えば、メモリが増設されたり、印刷 j o b データの受け取りの変更があったりすると、処理が開始され、管理プリンタ 100 に情報転送の依頼信号（R e q）を送信し（ステップ S400）、管理プリンタ 100 からの許可信号（A c q）を受信したか否かを判定し（ステップ S401）、許可信号を受信するまで上述の処理を繰り返し、許可信号を受信すると、情報を管理プリンタ 100 に送信し（ステップ S402）、管理プリンタ 100 からの受け取り確認信号を受信したか否かを判定し（ステップ S403）、受け取り確認信号を受信するまで処理を繰り返し、受信すると処理を終了する。このように、プリンタ 100 は自己のプリンタ情報に変更があると、管理プリンタ 100 に変更内容を知らせ、管理プリンタ 100 は常に最新のプリンタ情報を保持することとなる。

【0035】

図 11 は管理プリンタ 100 における転送先プリンタの決定処理のフローチャートを示す。管理プリンタ 100 が他のプリンタ 100 から印刷 j o b データを受信すると（ステップ S500）、印刷 j o b データを解読するとともに、各プリンタ 100 のプリンタ情報を読み出し（ステップ S501）、プリンタ情報から受信した印刷 j o b データを印刷しうるプリンタ 100 のうち、最も処理能力の低いプリンタ 100 を転送先プリンタに決定し、そのプリンタ 100 に印刷 j

o b の転送依頼を送信し（ステップ S 5 0 2）、そのプリンタ 1 0 0 がプリント可能ことを示す許可信号が返信されてくると、印刷 j o b データを決定したプリンタ 1 0 0 に転送し（ステップ S 5 0 4）、処理を終了する。ここで、最も処理能力の低いプリンタ 1 0 0 を転送先プリンタに決定したのは、新たな印刷 j o b データがあった場合に、その印刷 j o b データが高い処理能力を必要とする時にも対応できるようにするためである。

【 0 0 3 6 】

図 1.2 はプリンタ情報と管理プリンタ 1 0 0 が転送先プリンタを決定する際の手順の例を示す。例では、プリンタ 1 がサポート言語：PCL 6、カラー／白黒：カラー、用紙：A 4／A 3、解像度：1 2 0 0 d p i、メモリ容量：3 2 M B、プリント速度：3 p p m、プリンタ 2 がサポート言語：PCL 6、カラー／白黒：白黒、用紙：A 4／A 3、解像度：1 2 0 0 d p i、メモリ容量：3 2 M B、プリント速度：2 0 p p m、プリンタ 3 がサポート言語：PCL 5 e、カラー／白黒：カラー、用紙：A 4、解像度：6 0 0 d p i、メモリ容量：1 6 M B、プリント速度：3 p p m、プリンタ 4 がサポート言語：PCL 5 e、カラー／白黒：白黒、用紙：A 3、解像度：6 0 0 d p i、メモリ容量：1 6 M B、プリント速度：8 p p m、プリンタ 5 がサポート言語：PCL 6、カラー／白黒：白黒、用紙：A 4／A 3、解像度：6 0 0 d p i、メモリ容量：3 2 M B、プリント速度：1 6 p p m、プリンタ 6 がサポート言語：PCL 6、カラー／白黒：白黒、用紙：A 4／A 3、解像度：1 2 0 0 d p i、メモリ容量：1 6 M B、プリント速度：1 6 p p m、プリンタ 7 がサポート言語：PCL 6、カラー／白黒：白黒、用紙：A 4、解像度：6 0 0 d p i、メモリ容量：8 M B、プリント速度：2 0 p p m、プリンタ 8 がサポート言語：PCL 6、カラー／白黒：白黒、用紙：A 4、解像度：6 0 0 d p i、メモリ容量：1 6 M B、プリント速度：8 p p m、プリンタ 9 がサポート言語：PCL 5 e、カラー／白黒：白黒、用紙：A 4、解像度：6 0 0 d p i、メモリ容量：8 M B、プリント速度：8 p p m であり、プリンタ 1 が管理プリンタとする。なお、各プリンタ 1 ～ 9 は全て同等のフォントを有するものとする。

【 0 0 3 7 】

今、プリンタ7から管理プリンタ1に印刷j o bデータが転送され、その印刷j o bデータの内容がPCL6、白黒、A4、600dpiの場合、転送先プリンタの候補はプリンタ言語から、プリンタ2、6、8となる。この3台のプリンタの中から、最も処理能力の低いプリンタはプリンタ8であるので、管理プリンタ1はプリンタ8に対して印刷j o bデータを転送して処理を実行させる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る印刷システムの好ましい実施形態の構成を示す図である。

【図2】 上記実施形態におけるホストコンピュータの構成を示す機能ブロック図である。

【図3】 上記実施形態におけるプリンタの構成を示す機能ブロック図である。

【図4】 上記実施形態におけるシステムの概念構成を示す図である。

【図5】 図4のシステムを管理プリンタを中心としてグループ化した状態を示す概念図である。

【図6】 上記実施形態における管理プリンタの選定処理(a)及び自動選択処理(b)のフローチャートを示す図である。

【図7】 上記実施形態における管理プリンタのマニュアル選定のための画面(a)(b)を示す図である。

【図8】 上記実施形態における管理プリンタの印刷処理のフローチャートを示す図である。

【図9】 上記実施形態における通常のプリンタの印刷処理のフローチャートを示す図である。

【図10】 上記実施形態における通常のプリンタのプリンタ情報更新の処理のフローチャートを示す図である。

【図11】 上記実施形態における管理プリンタの転送先プリンタの決定処理のフローチャートを示す図である。

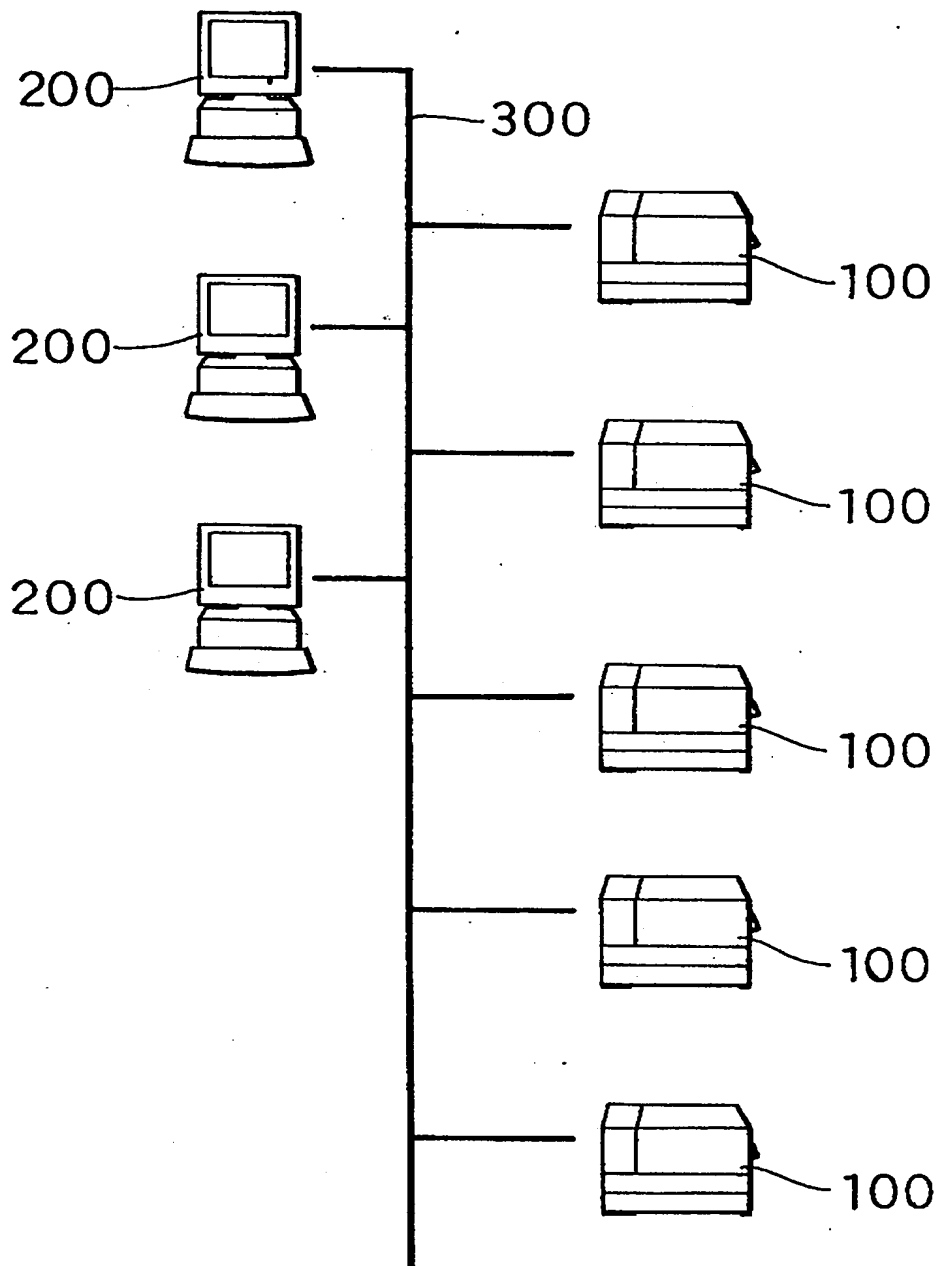
【図12】 上記実施形態における印刷j o bデータの転送先プリンタの決定の手順例を示す図である。

【符号の説明】

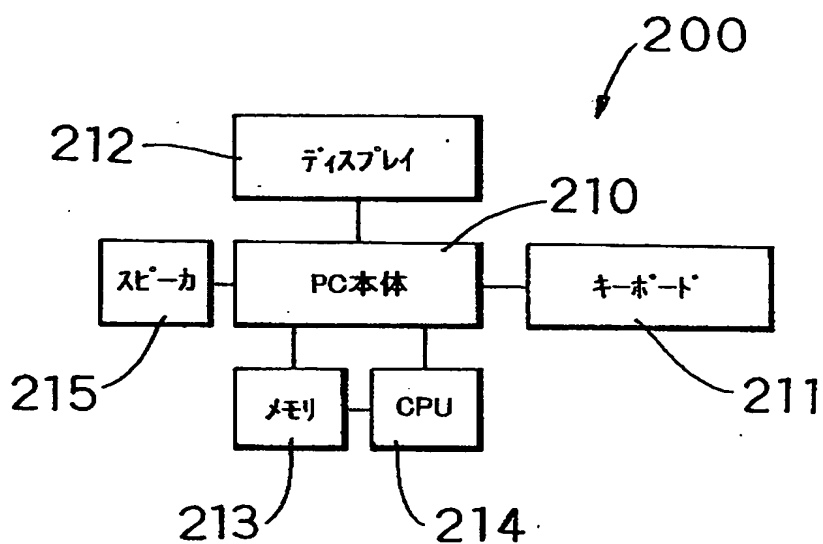
100	プリンタ（印刷装置）
110	プリンタ本体（印刷手段、通信手段）
111	オペレーションパネル（選択手段）
112	メモリ（記憶手段）
113	CPU（選択手段）
200	ホストコンピュータ（データ処理装置）
210	パーソナルコンピュータ本体（通信手段）
214	CPU（グルーピング手段、自動選定手段）

【書類名】 図面

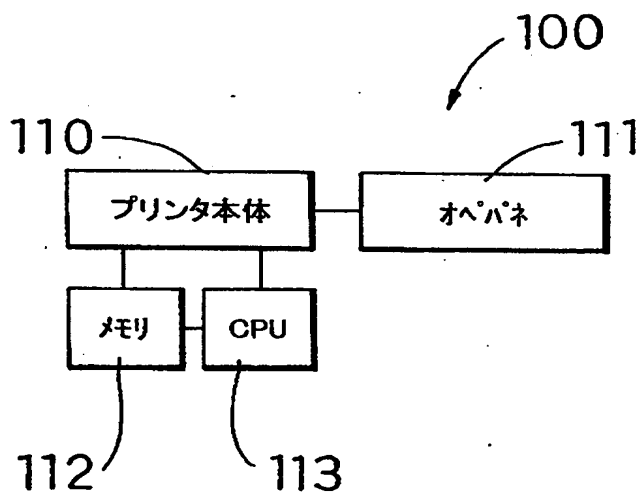
【図 1】



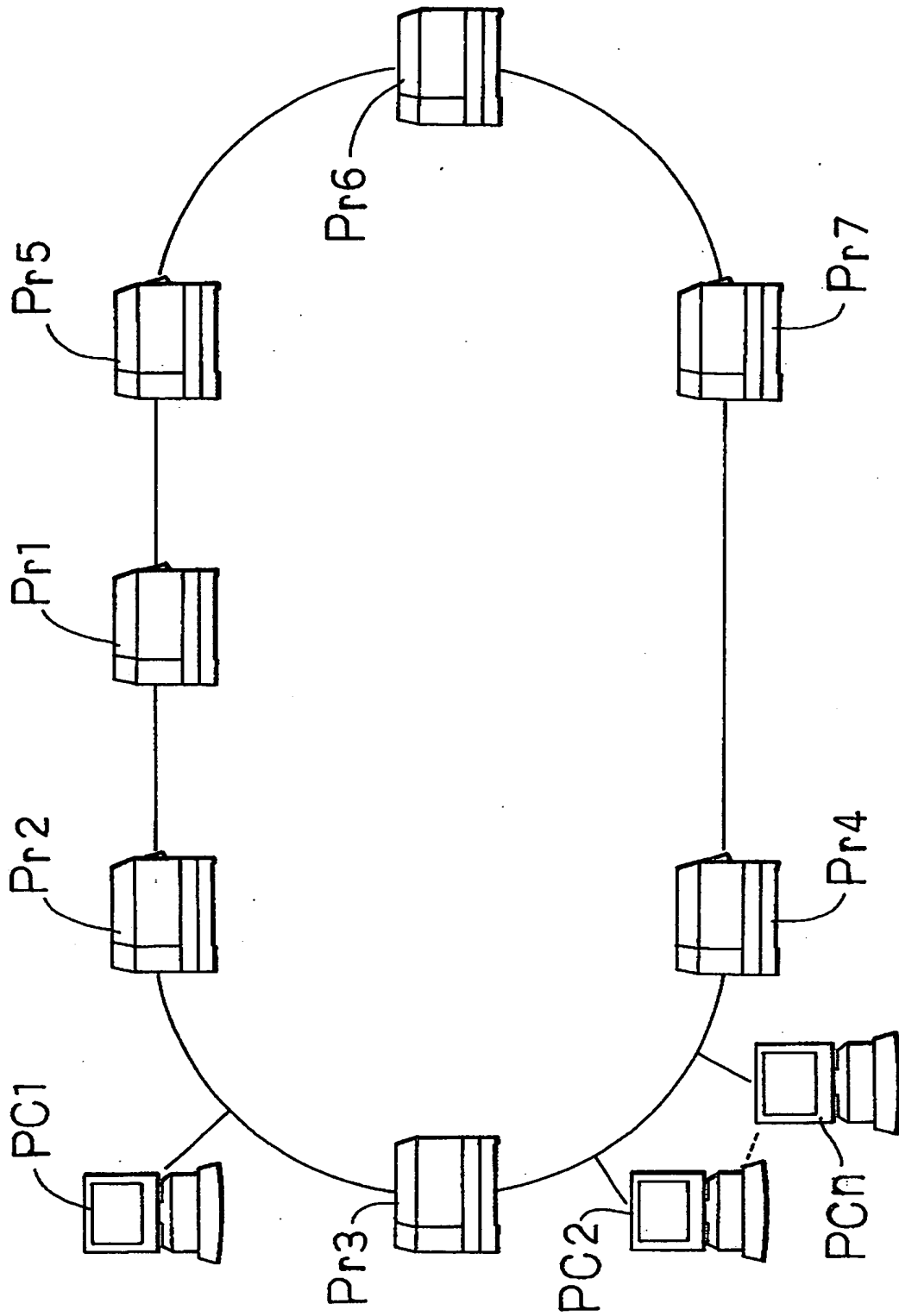
【図 2】



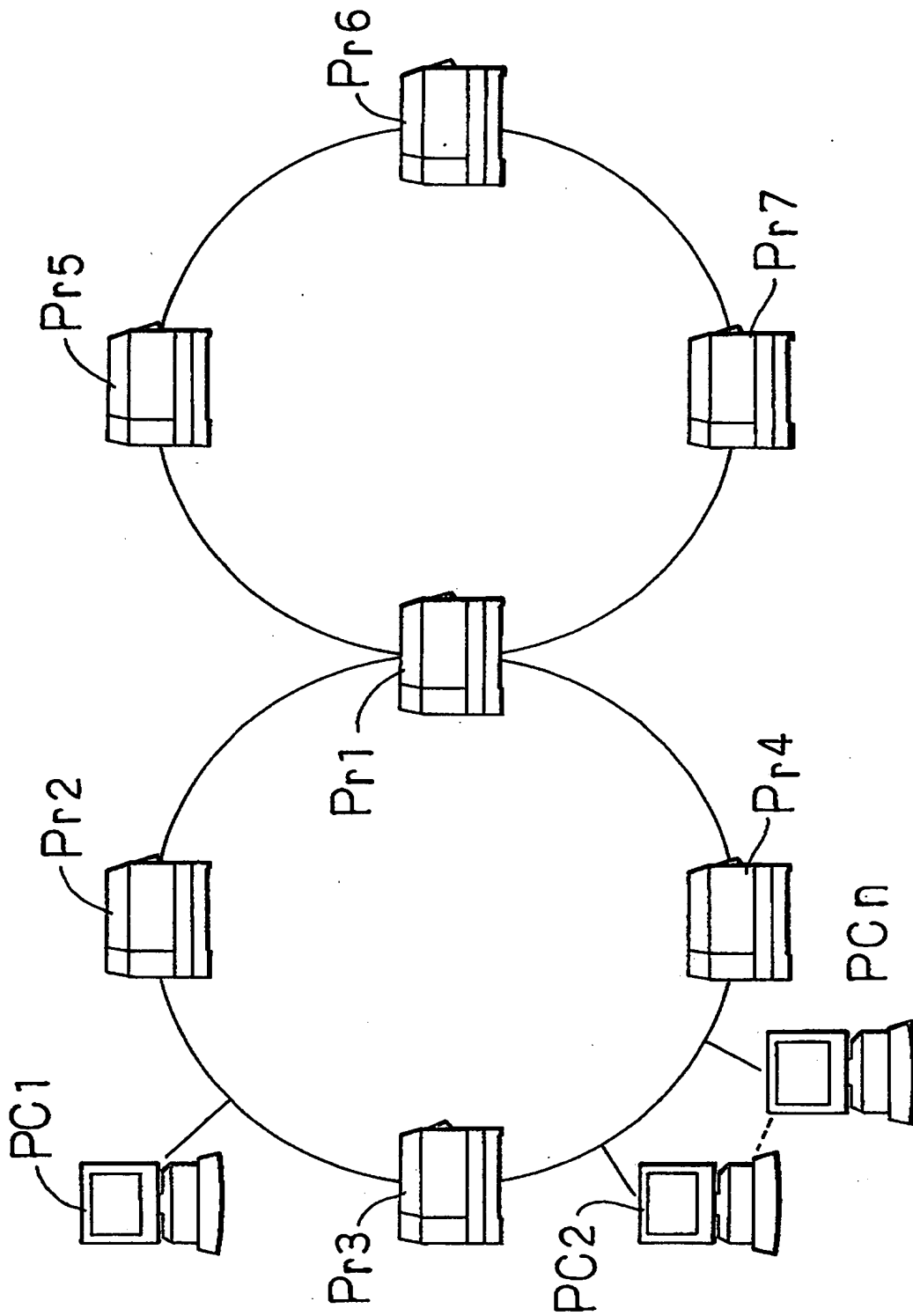
【図 3】



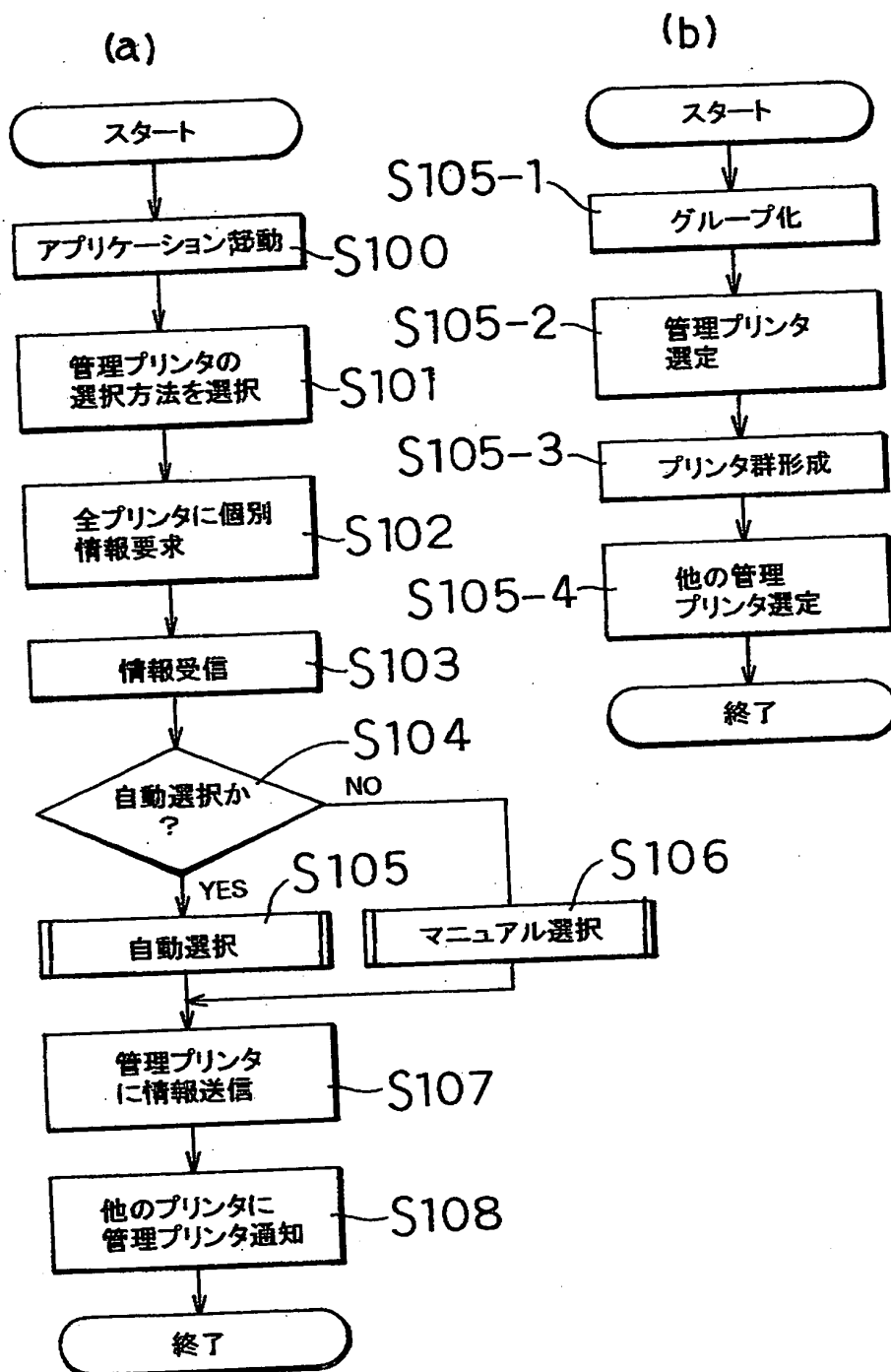
【図4】



【図5】



【図 6】



【図 7】

(a)

ボス・プリンタ選定のプロパティ

選択 プロパティ 詳細

〔ボス・プリンタ選定〕

☐ 自動選定

☒ マニュアル選定

OK キャンセル

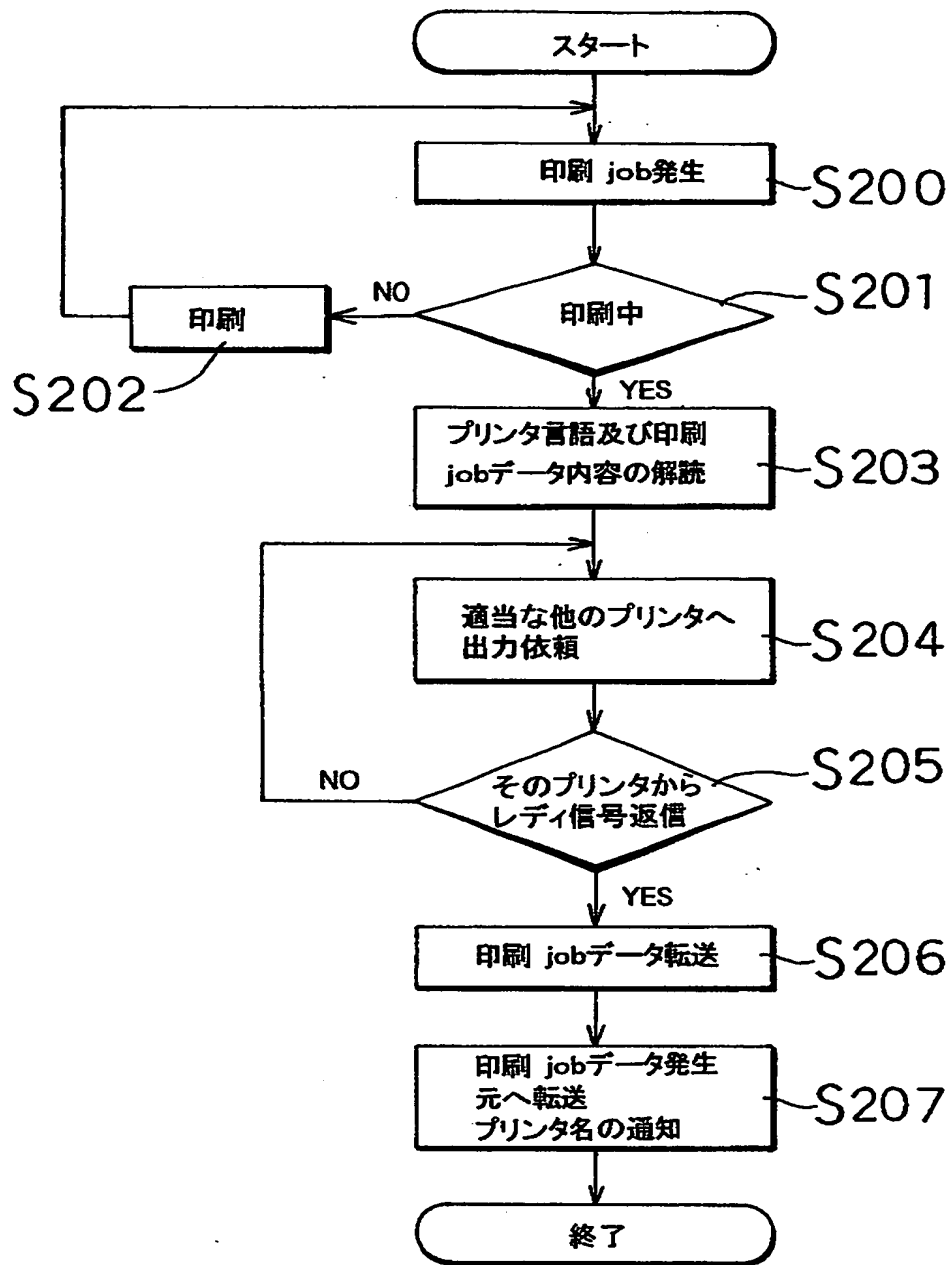
(b)

プリンタ名称	言語	解像度	プリント速度	メモリ	▲
<input type="radio"/> プリンタ1	PCL	600dpi	20ppm	16MB	
<input type="radio"/> プリンタ2	PCL	1200	8ppm	16MB	
<input type="radio"/> プリンタ3	PCL	600	16ppm	8MB	
<input type="radio"/> プリンタA	PS	600	20ppm	16MB	
<input type="radio"/> プリンタB	PS	1200	16ppm	32MB	
<input checked="" type="radio"/> プリンタC	PS/	1200	20ppm	32MB	
	PCL				▼

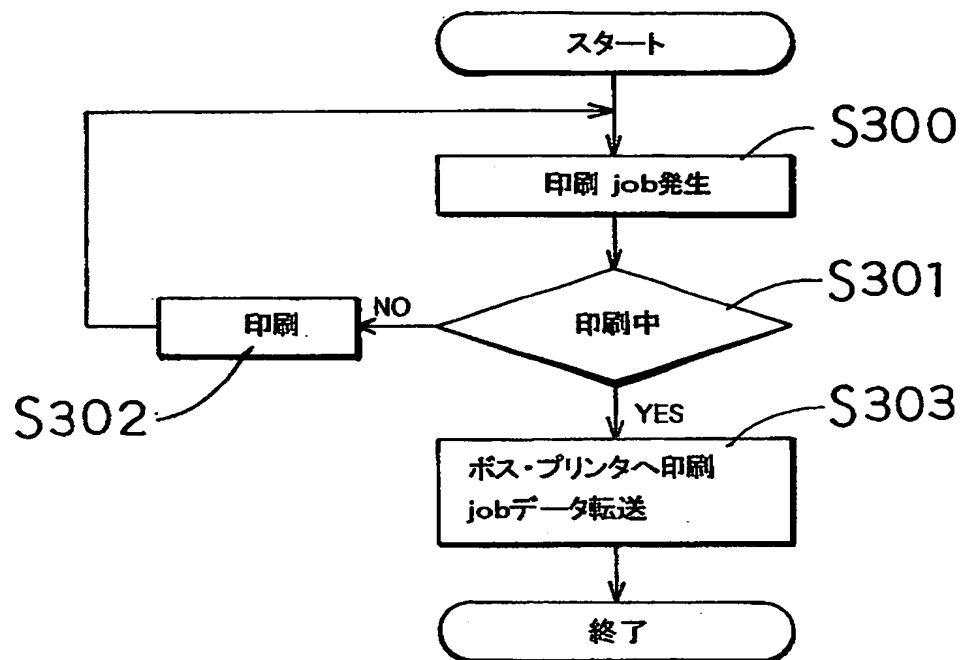
◀ ▶

自動選択 OK キャンセル

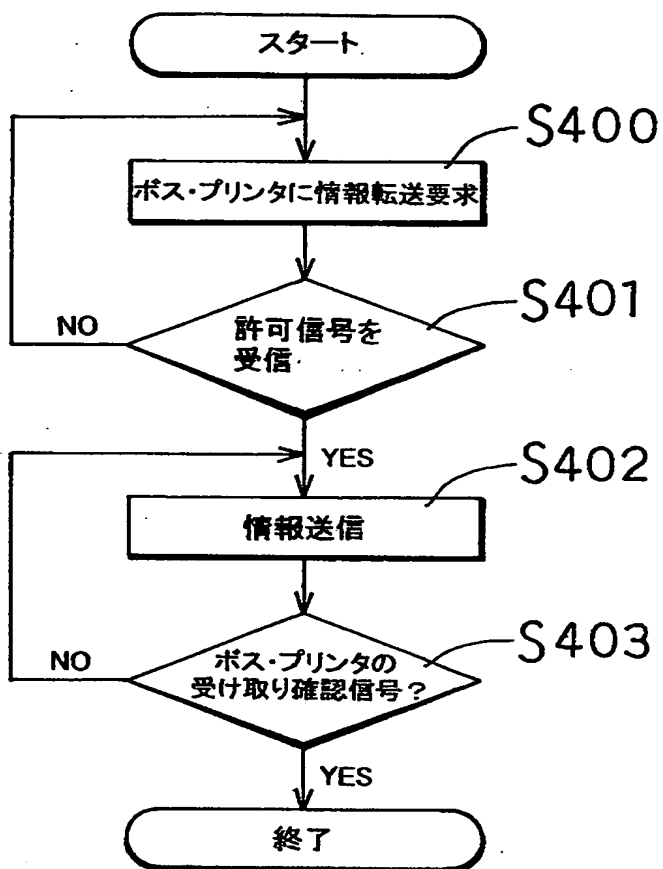
【図 8】



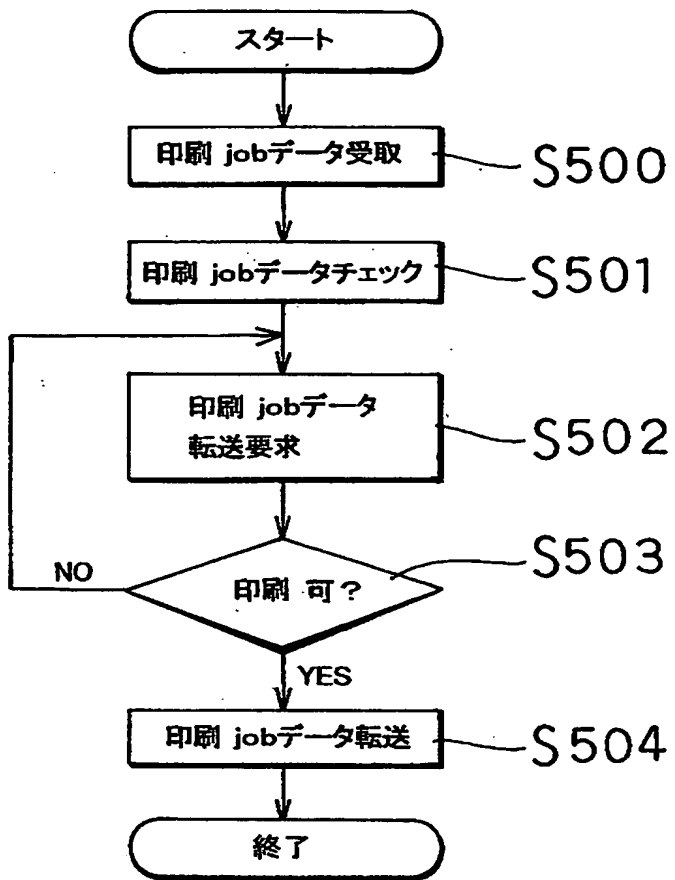
【図9】



【図 10】



【図 11】



【図 1 2】

	プリンタ言語	カラー・白黒	用紙	解像度	メモリ容量	フォント	プリント速度	プリント実行	備考
プリンタ1	PCL6	カラー	A4/A3	1200dpi	32MB	—	3ppm	NO	
プリンタ2	PCL6	白黒	A4/A3	1200dpi	32MB	—	20ppm	NO	
プリンタ3	PCL5e	カラー	A4	600dpi	16MB	—	3ppm	YES	
プリンタ4	PCL5e	白黒	A3	600dpi	16MB	—	8ppm	NO	
プリンタ5	PCL5e	白黒	A4/A3	600dpi	32MB	—	16ppm	NO	
プリンタ6	PCL6	白黒	A4	1200dpi	16MB	—	16ppm	NO	
プリンタ7	PCL6	白黒	A4	600dpi	8MB	—	20ppm	YES	
プリンタ8	PCL6	白黒	A4	600dpi	16MB	—	8ppm	NO	
プリンタ9	PCL5e	白黒	A4	600dpi	8MB	—	8ppm	NO	

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 印刷 j o b データを受信した印刷装置が何らかの原因で印刷を実行できない場合に時間待ちをすることなく印刷を行えるようにする。

【解決手段】 データ処理装置(200)によって複数の印刷装置(100)をその処理しうる言語に基づいてグループ化し、複数グループの少なくとも2つの異なる言語を処理しうる印刷装置を管理印刷装置とする。管理印刷装置以外の印刷装置は自己の処理しうる言語グループの管理印刷装置を記憶する一方、管理印刷装置は処理しうる言語グループに属する全ての印刷装置の装置情報を記憶し、いずれかの印刷装置からの印刷 j o b データの転送があった時に該印刷 j o b データを同一の言語グループに属する他の印刷装置に転送するようになす。

【選択図】 図 5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006079]

1. 変更年月日 1994年 7月20日

[変更理由] 名称変更

住 所 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル
氏 名 ミノルタ株式会社